

# 連結財務諸表(要旨)

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

|                                | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>2014年4月1日～<br>2014年9月30日 | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>2015年4月1日～<br>2015年9月30日 |
|--------------------------------|--|--|
| 営業収益 ..... Point ①             | 673,237                                      | 683,785                                      |
| 営業原価                           | 633,922                                      | 645,448                                      |
| 営業総利益                          | 39,315                                       | 38,337                                       |
| 販売費及び一般管理費                     | 18,031                                       | 20,336                                       |
| 営業利益 ..... Point ②             | 21,284                                       | 18,000                                       |
| 営業外収益                          | 1,435  | 1,163  |
| 営業外費用                          | 397  | 537  |
| 経常利益                           | 22,322                                       | 18,627                                       |
| 特別利益                           | 664  | 54   |
| 特別損失                           | 687  | 89   |
| 税金等調整前四半期純利益                   | 22,299                                       | 18,592                                       |
| 法人税等                           | 10,129                                       | 8,707  |
| 四半期純利益                         | 12,169                                       | 9,884  |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益               | 20   | 125  |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 ..... Point ③ | 12,149                                       | 9,759  |

### ポイント解説

#### Point ①

デリバリー事業においては「宅急便コンパクト」「ネコポス」の拡販を進め、ノンデリバリー事業においては既存サービスが伸長しましたが、「クロネコメール便」の廃止による影響を補うには至らず、営業収益は前年同期に比べ1.6%増加の6,837億85百万円となりました。

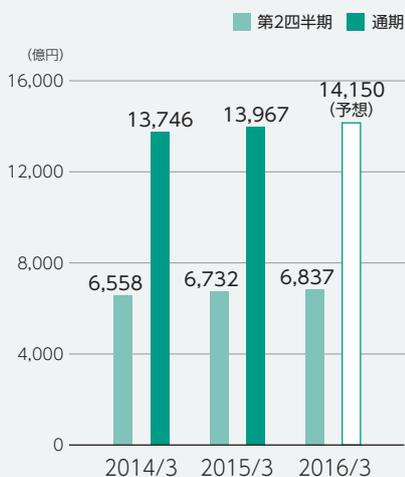
#### Point ②

労働需給の逼迫などによるコスト環境の悪化に伴い、営業利益は前年同期に比べ15.4%減少し、180億円となりました。

#### Point ③

当期における純利益は、前年同期に比べ19.7%減少の97億59百万円になりました。

### 営業収益



### 営業利益



### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

|                            | 前連結<br>会計年度<br>2015年3月31日 | 当第2四半期<br>連結会計期間<br>2015年9月30日 |
|----------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| <b>[資産の部]</b>              |                           |                                |
| 流動資産                       | 566,205                   | 518,246                        |
| 固定資産                       | 516,325                   | 517,147                        |
| 有形固定資産                     | 420,101                   | 421,097                        |
| 無形固定資産                     | 17,600                    | 19,376                         |
| 投資その他の資産                   | 78,624                    | 76,673                         |
| <b>資産合計</b> ..... Point ①  | <b>1,082,531</b>          | <b>1,035,394</b>               |
| <b>[負債の部]</b>              |                           |                                |
| 流動負債                       | 357,034                   | 320,790                        |
| 固定負債                       | 154,297                   | 157,851                        |
| <b>負債合計</b> ..... Point ②  | <b>511,331</b>            | <b>478,641</b>                 |
| <b>[純資産の部]</b>             |                           |                                |
| 株主資本                       | 549,789                   | 537,097                        |
| その他の包括利益累計額                | 15,731                    | 13,794                         |
| 非支配株主持分                    | 5,678                     | 5,860                          |
| <b>純資産合計</b> ..... Point ③ | <b>571,199</b>            | <b>556,753</b>                 |
| <b>負債純資産合計</b>             | <b>1,082,531</b>          | <b>1,035,394</b>               |

### ポイント解説

#### Point ①

株主価値向上を目的とした自己株式の取得(取得期間:7月31日から8月13日まで)等により、現金及び預金が減少したことなどにより、総資産は前連結会計年度に比べ471億36百万円減少の1兆353億94百万円となりました。

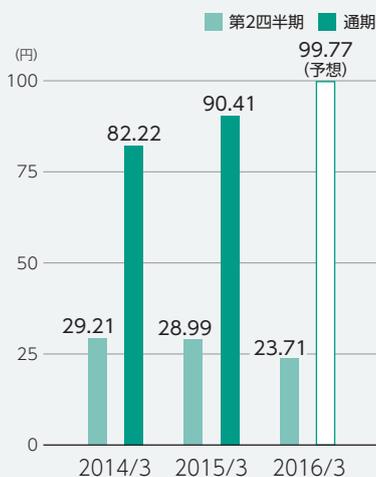
#### Point ②

支払手形及び買掛金、未払消費税等の減少などにより、負債は前連結会計年度に比べ326億90百万円減少の4,786億41百万円となりました。

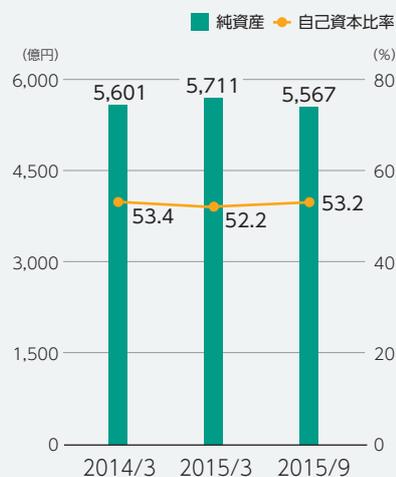
#### Point ③

当期における純利益を計上したこと、剰余金の配当を実施したことに加え、自己株式を取得したことなどにより、純資産は前連結会計年度に比べ144億46百万円減少の5,567億53百万円となりました。

### 1株当たり四半期(当期)純利益



### 純資産/自己資本比率



### 用語解説

#### 親会社株主に 帰属する四半期 (当期)純利益

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益とは、税金等調整前四半期(当期)純利益から法人税等、非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益を差し引いて、最終的に残った利益のことです。一定期間の企業活動の結果、得られた純粋な成果であるといえます。

従来は「四半期(当期)純利益」と呼ばれていましたが会計基準と連結財務諸表規則が改正されたことにより、名称が変更されました。2016年3月期から適用されています。

# 連結財務諸表(要旨)

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

|   | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>2014年4月1日～<br>2014年9月30日 | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>2015年4月1日～<br>2015年9月30日 |
|---|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー <span style="color:red">Point 1</span> | 18,469                                       | △14,330                                      |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー <span style="color:red">Point 2</span> | △29,793                                      | △23,085                                      |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー <span style="color:red">Point 3</span> | 4,091  | △11,862                                      |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額  | △320   | △110   |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)                                     | △7,553                                       | △49,388                                      |
| 現金及び現金同等物の期首残高  | 219,395                                      | 247,051                                      |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額                                    | —  | 213  |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高  | 211,842                                      | 197,875                                      |

より詳細な連結財務諸表につきましては、  
ホームページ(<http://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス 財務

### ポイント解説

#### Point 1

未払消費税等の増減額が減少したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ収入が327億99百万円減少し、143億30百万円の支出となりました。

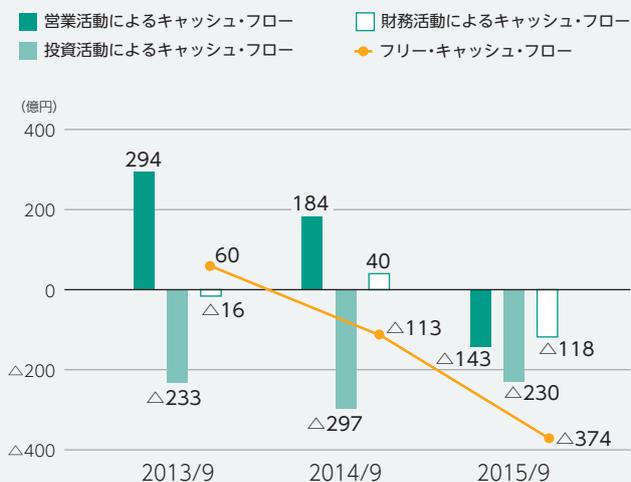
#### Point 2

有形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ支出が67億7百万円減少し、230億85百万円の支出となりました。

#### Point 3

自己株式の取得による支出が増加したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ収入が159億54百万円減少し、118億62百万円の支出となりました。

## キャッシュ・フロー



### 用語解説

#### キャッシュ・フローについて

##### ○営業活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動から獲得したキャッシュから仕入れや事業活動に必要な諸費用を差し引いて、本来の営業活動から得られた金額を示します。

##### ○投資活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動を維持拡大するための設備投資や資産の売却、資金の貸し付けや回収など、会社の将来を考えた諸活動にどの程度の額を回したのかを示します。

##### ○財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどの程度の資金調達をしたのか、もしくは余剰資金がある場合はそのうちどの程度の額を借入金等の返済に回したのかを示します。